

## 令和6年度 横浜旭陵高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和7年3月8日(土)13:30～15:00
- 2 場 所 県立横浜旭陵高等学校 B棟1F 多目的室
- 3 出席者 学校運営協議会委員:7名 (若月様、久保様、大和田様、十亀様、渋谷様、山田様、川崎様)  
学校関係者:11名(管理職・総括教諭他)

### 4 内 容

#### (1)校長挨拶

本日はご出席いただきありがとうございます。

議題は、目標の振り返りです。

#### (2)各グループからの報告

##### 研究開発G

##### 持丸総括教諭

認知行動療法を取り入れた取り組みを実施してきました。

春休みの3月25日(火)に3つのコースを設定し、生徒の認知を豊かにする校外学習を実施予定です。

生徒による授業評価では認知変容多様化を促す項目、それ以外の項目いずれも肯定的評価が得られました。

##### 学事情報G

##### 大久保総括教諭

年度末の成績処理をミスのないよう進めています。

サポートティーチャーを活用する生徒も増えており、さらなる支援を充実させていきます。

外国につながるのがある生徒には、どう学びを保障していくのかということを考え、プリントやテストにルビをふるなどの対応を行っています。

来年度に向けた履修登録が現在進んでいますが、再編統合に向けて教員数が減少する中でも生徒の学びを保障すべく努力していきます。

##### 進路支援G

##### 千葉総括教諭

進路概況としては学校推薦型や総合型選抜、AO入試など年内に結果が判明する入試を活用する生徒が大半でした。

就職に関しましては、残っている生徒も、まもなく面接を控えています。最後まで指導していきます。

生徒が進学を考えている学校の方に来ていただき、対策をしてもらう機会が多くありました。来年度も大学や専門学校、マナー講座での企業との連携などを進めていきます。

## 生徒成長支援G

### 山森総括教諭

生徒指導件数は少し増えてきましたが、軽微な内容のものであると分析しています。

規範意識の低さや思慮の浅さが目立ちます。生徒には、個別に話をし、同じことを繰り返さないよう指導していきます。

教育相談に関してはSC、SSWにほぼ毎週来校いただきつつ、必要に応じて外部機関と連携しています。ケースごとに必要な支援ができていると認識しています。

## 自主活動支援G

### 伊藤総括教諭

文化祭について、今年度は一般公開の範囲を拡大したため、外部から400人ほどの来場がありました。

レクリエーション大会では、ドッジビーを実施して大変盛り上がりました。

昨日ボランティア講演会を開催しました。引き続き地域と連携してボランティア活動を推進していきたいと考えています。

今後の課題は、再編統合による教職員数、生徒数の減少に伴い、行事を精選し規模を見直していくことが挙げられます。

## 総務管理G

### 吉田総括教諭

校内美化のため、掲示物の数や掲示の方法を工夫しました。

また、閉校に向けて、物品の整理を含めた整備があります。この春も全職員での大規模な物品整理を実施予定です。

来年度使用教室の変更があることによる対応を随時すすめています。

また、来年度に生徒数が減少する関係で、使用するロッカーも減少します。あわせて、自動販売機の数や設置場所の調整も行っていきます。

生徒が安心して学校生活を送ることができるよう環境整備をすすめてまいります。

## 大久保総括教諭

サポートティーチャーの活動報告をおこないます。

利用件数は例年増加しており、新1年次生を中心に、サポートティーチャーとともに課題を行うなどの目的で使用しています。1年次生の利用件数は、昨年にくらべて、約3倍となっています。

卒業年次生は進路活動の対策、英検対策なども対応いただいております。居場所としても認知されているという現状があります。今後も利用を促進するべくすすめてまいります。

## (3) 委員よりご意見

### 若月様

高校生の興味関心に変化し、幼児教育に関心を持つ高校生が減少しているようです。これは課題に感じています。

専門学校進学者はどのような分野が多いのか教えていただきたいです。

千葉総括教諭

専門学校進学者で最も多い分野は美容理容です。保育に関しましては専門学校では聖ヶ丘保育専門学校など、大学では横浜創英大学、短大では洗足こども短期大学などに進学いたします。

久保様

生徒、職員の人数の減少で行事が縮小していくのではないかと心配です。在校生のために少しでも行事規模が維持されることを望みます。

大和田様

福祉施設は人材不足の業界です。生徒がボランティアを通して、福祉に興味を持ってくれるといいなと思います。

再編統合に向けてご苦労があるかと思いますが、進路等順調とのこと安堵いたしました。

十亀様

サポートティーチャーの取組が大変効果的とのこと、関心を持って注視しています。一方で、いじめに関する事案はあるのでしょうか。

山森総括教諭

ありません。

十亀様

弊社においてはキャラが強い人に対する耐性が少ない人が多いと感じています。被害的に受け取ることが多かったり自己肯定感の低さなどが影響しているように思います。

仕事にアルバイト感覚で来てしまう社員が増えています。弊社でも課題意識を持って指導をしているところです。

自己肯定感が高まると主体性がでてきて生産性も高まると考えています。TBSドラマ「御上先生」を視聴しているのですが、あのように主体的な思考、行動ができる人の育成を自分も意識したいと考えています。

渋谷様

地域の活動として、小学生と積極的に関わっています。子どもが自分で考えるチャンスを提供するように心がけています。

地域貢献デーを来年度はぜひ一緒にやりたいと思います。将来の自分たちのやりたいことを見つけたきっかけになるような活動をしていきたいと思っています。

また、街全体であいさつが飛び交うようにしたいと思っています。小学校と協力して取り組んでいるので、高校生も一緒に取り組んでもらえると嬉しいです。

山田様

認知行動療法の取組の成果が出ているという結果があり、素晴らしいと思います。子どもたちが自分たちの意見をはっきり言えるという点にも感銘を受けています。

サポートティーチャーの活動報告の中で、生徒たちの個性によって居場所が異なるという点を興味深く拝聴しました。色んな場所に居場所を作れる単位制の学校であるということを魅力的に思います。

川崎様

サポートティーチャーは娘も利用しており、成績が上がったと言っています。今後も続けてほしい取組の1つです。

大野校長

自分の意見を言いながら居場所をもっていてくれるといいというご意見を複数いただきました。

2年生の生徒から、認知行動療法にかかわる取組をやりたいとのことで、「アサーショントレーニング」についての資料を持ってきた生徒がいました。

生徒の思いを汲んだ上で、桜美林大学小関先生にご協力いただき、来年度春に実現できるようすすめています。生徒会が中心となって、まず、専門家から生徒たちが講義を受け、理解をしたうえで、生徒たちが一同に会して生徒同士で学び合うという企画を実施予定です。大成功に終わるよう教職員一同支援してまいります。

3月の校外学習につきましては、校内だけでなく、学校の外に出て、物事の見方を豊かにしていこうという試みです。校外の様々な活動を頑張っている大人に会いに行こうという企画です。春休み中の希望者のみの参加にかかわらず40名の生徒が集まってまいりました。

来年度に向けて、校内の教育活動はもちろん、校外での活動も充実させていきたいと思います。

自己肯定感の向上には、生徒が自発的に動いていくこと以上のものはないと考えています。

教員数が減っても、教育活動をさらに充実させていきます。